

教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)
 予約購読料 1年分 5,000円
 紙代のみ 3,500円
 振替 00140 9 145275

本紙を購読ご希望の方は、前金を
 そえて、お近くのキリスト教書店
 へお申し込み下さい。
 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
 日本キリスト教会館内 電話 03(3207)0546
 FAX 03(3207)3918
 E-mail:shimpo-h-c@uccj.org

発行人 竹前 昇
 編集主筆 竹澤 知代志
 印刷所 株式会社きかんし

メッセージ

ヨハネの黙示録 三章二〇節

扉を開いて



藤掛 順一

に来る前の下見に来られた方もあり、教会の敷居を低くし、入り易くするという効果も出ているようです。

に、そのような努力をそれぞれの教会はしているな仕方であり、そのことがなかなかならぬような成果を生まないと現実もあります。

日本のキリスト教人口は今年一パーセントを切り、社会の中で教会の存在感はますます希薄になり、人々の目に見えなくなっています。ある人はこれを「教会の秘密結社化」と表現し

ています。そのようなつもりはなくても、自分たちの間でしか通用しない言葉や論理に凝り固まり、結果的に世間の人々に対して扉を閉ざしているという印象を与えてしまっているのではないかと、私たちは自らを振り返るべきでしょう。

を、主イエス・キリストがたたいておられるのです。主イエス・キリストが私たちの心の扉の外に立ってたたいておられ、私たちが扉を開くことを待っておられるのです。私たちが扉を開くのは、その主イエスをお迎えするためなのです。

教会の扉を開くことも、人々を迎え入れるためであるよりも先ず、主イエス・キリストをお迎えするためです。教会が自らの中に閉じ籠り、扉を閉ざしてしまっているとしたら、それは主イエス・キリストに対して扉を開き、一人でも多く教会に迎え入れるためだけのことではありません。教会の、そして私たちの、閉ざされてしまいがちな扉

を、主イエス・キリストがたたいておられるのです。主イエス・キリストが私たちの心の扉の外に立ってたたいておられ、私たちが扉を開くことを待っておられるのです。私たちが扉を開くのは、その主イエスをお迎えするためなのです。

教会の扉を開くことも、人々を迎え入れるためであるよりも先ず、主イエス・キリストをお迎えするためです。教会が自らの中に閉じ籠り、扉を閉ざしてしまっているとしたら、それは主イエス・キリストに対して扉を開き、一人でも多く教会に迎え入れるためだけのことではありません。教会の、そして私たちの、閉ざされてしまいがちな扉

を、主イエス・キリストがたたいておられるのです。主イエス・キリストが私たちの心の扉の外に立ってたたいておられ、私たちが扉を開くことを待っておられるのです。私たちが扉を開くのは、その主イエスをお迎えするためなのです。

教会の扉を開くことも、人々を迎え入れるためであるよりも先ず、主イエス・キリストをお迎えするためです。教会が自らの中に閉じ籠り、扉を閉ざしてしまっているとしたら、それは主イエス・キリストに対して扉を開き、一人でも多く教会に迎え入れるためだけのことではありません。教会の、そして私たちの、閉ざされてしまいがちな扉

を、主イエス・キリストがたたいておられるのです。主イエス・キリストが私たちの心の扉の外に立ってたたいておられ、私たちが扉を開くことを待っておられるのです。私たちが扉を開くのは、その主イエスをお迎えするためなのです。

教会の扉を開くことも、人々を迎え入れるためであるよりも先ず、主イエス・キリストをお迎えするためです。教会が自らの中に閉じ籠り、扉を閉ざしてしまっているとしたら、それは主イエス・キリストに対して扉を開き、一人でも多く教会に迎え入れるためだけのことではありません。教会の、そして私たちの、閉ざされてしまいがちな扉

を、主イエス・キリストがたたいておられるのです。主イエス・キリストが私たちの心の扉の外に立ってたたいておられ、私たちが扉を開くことを待っておられるのです。私たちが扉を開くのは、その主イエスをお迎えするためなのです。

教会の扉を開くことも、人々を迎え入れるためであるよりも先ず、主イエス・キリストをお迎えするためです。教会が自らの中に閉じ籠り、扉を閉ざしてしまっているとしたら、それは主イエス・キリストに対して扉を開き、一人でも多く教会に迎え入れるためだけのことではありません。教会の、そして私たちの、閉ざされてしまいがちな扉

主イエスを迎えるために

教会の扉は、象徴的な意味で開かれていなければなりません。けれどもそれは、単に世の人々を一人でも多く教会に迎え入れるためだけのことではありません。教会の、そして私たちの、閉ざされてしまいがちな扉

を、主イエス・キリストがたたいておられるのです。主イエス・キリストが私たちの心の扉の外に立ってたたいておられ、私たちが扉を開くことを待っておられるのです。私たちが扉を開くのは、その主イエスをお迎えするためなのです。

教会の扉を開くことも、人々を迎え入れるためであるよりも先ず、主イエス・キリストをお迎えするためです。教会が自らの中に閉じ籠り、扉を閉ざしてしまっているとしたら、それは主イエス・キリストに対して扉を開き、一人でも多く教会に迎え入れるためだけのことではありません。教会の、そして私たちの、閉ざされてしまいがちな扉

を、主イエス・キリストがたたいておられるのです。主イエス・キリストが私たちの心の扉の外に立ってたたいておられ、私たちが扉を開くことを待っておられるのです。私たちが扉を開くのは、その主イエスをお迎えするためなのです。

教会の扉を開くことも、人々を迎え入れるためであるよりも先ず、主イエス・キリストをお迎えするためです。教会が自らの中に閉じ籠り、扉を閉ざしてしまっているとしたら、それは主イエス・キリストに対して扉を開き、一人でも多く教会に迎え入れるためだけのことではありません。教会の、そして私たちの、閉ざされてしまいがちな扉

を、主イエス・キリストがたたいておられるのです。主イエス・キリストが私たちの心の扉の外に立ってたたいておられ、私たちが扉を開くことを待っておられるのです。私たちが扉を開くのは、その主イエスをお迎えするためなのです。

教会の扉を開くことも、人々を迎え入れるためであるよりも先ず、主イエス・キリストをお迎えするためです。教会が自らの中に閉じ籠り、扉を閉ざしてしまっているとしたら、それは主イエス・キリストに対して扉を開き、一人でも多く教会に迎え入れるためだけのことではありません。教会の、そして私たちの、閉ざされてしまいがちな扉

を、主イエス・キリストがたたいておられるのです。主イエス・キリストが私たちの心の扉の外に立ってたたいておられ、私たちが扉を開くことを待っておられるのです。私たちが扉を開くのは、その主イエスをお迎えするためなのです。

教会の扉を開くことも、人々を迎え入れるためであるよりも先ず、主イエス・キリストをお迎えするためです。教会が自らの中に閉じ籠り、扉を閉ざしてしまっているとしたら、それは主イエス・キリストに対して扉を開き、一人でも多く教会に迎え入れるためだけのことではありません。教会の、そして私たちの、閉ざされてしまいがちな扉

を、主イエス・キリストがたたいておられるのです。主イエス・キリストが私たちの心の扉の外に立ってたたいておられ、私たちが扉を開くことを待っておられるのです。私たちが扉を開くのは、その主イエスをお迎えするためなのです。

教会の扉を開くことも、人々を迎え入れるためであるよりも先ず、主イエス・キリストをお迎えするためです。教会が自らの中に閉じ籠り、扉を閉ざしてしまっているとしたら、それは主イエス・キリストに対して扉を開き、一人でも多く教会に迎え入れるためだけのことではありません。教会の、そして私たちの、閉ざされてしまいがちな扉

を、主イエス・キリストがたたいておられるのです。主イエス・キリストが私たちの心の扉の外に立ってたたいておられ、私たちが扉を開くことを待っておられるのです。私たちが扉を開くのは、その主イエスをお迎えするためなのです。

教会の扉を開くことも、人々を迎え入れるためであるよりも先ず、主イエス・キリストをお迎えするためです。教会が自らの中に閉じ籠り、扉を閉ざしてしまっているとしたら、それは主イエス・キリストに対して扉を開き、一人でも多く教会に迎え入れるためだけのことではありません。教会の、そして私たちの、閉ざされてしまいがちな扉

荒野の声

二昔も前のこと。重度の身体的障害を持つた方々と月一回の礼拝を一緒に守っていた。日常会話も不自由な人が多く、讃美歌を歌うことが困難なことだった。少し歌える人も、大幅に音を外す者に引きずられてしまふ。一〇数人の讃美は悲惨な状態になるのが常だった。讃美歌が無くては礼拝は成立する、それも考えたのだが、メンバーは歌いたらしい。ヒムブレイヤーは未だ持っていない。奏楽を録音したものを持参する。必死でこの音を聞いた。メンバーがトンドモなく外れた音を出しても、その声には耳を閉ざし、ひたすら奏楽だけを聞く、そんな器用なことが出来るようになった。メンバーには関係なく、一人で正しく歌えた。初めて正しく歌えたその瞬間に目が覚めた。何をやってきたのだらう。これでは讃美でも何でもない。次の礼拝からテープも止めた。みんなで歌った。思いっきり音を外して、気持ち良く歌っている。彼らの心持ちが、だんだんに分かってくるようになった。祈りについても同じこと。聞き取ることも難しい言葉に、しかし、心を打たれ、アーメンを言った。

会堂開放

私たちの教会は昨春秋から、「会堂開放」を始めました。私たちの教会堂は一九二六年に建てられた、ご覧のように大変美しい建物です。新来者にとって決して入り易くはない、敷居の高いものですが、他方横浜市の歴史的建造物に指定されており、それらを巡るツアーのコースにも入っています。見学を希望する人は、ぜひこの機会に、正面入口の受付に奉仕者が二人ずつ待機して、来訪者を迎え、必要があれば建物の説明などをすると、体制を整えました。開放中、外には「会堂開放中」という看板を出し、気候のよい時には扉を開けたままにしておいて、誰でも入れることをアピールしています。

始める前は、果してどれくらい人が来るだろうかと、一日中待ちぼうけになるのでは、と不安にも思っていました。実際にはほぼ毎日、案外多くの方々が訪れてきています。

私どもの教会はオフィス街にありますが、近くの会社に勤めている人が、一度入ってみたいと思っていたが、今まで週日にはいつも閉まっていたり、入れなかつた。とお昼休みに来たり、横浜のキリスト教史跡を巡るツアーの方々が立ち寄り

たり、デート中のカップルがふらりと立ち寄りたりしています。ちょっと見ただけですぐ帰る人もいれば、礼拝堂に座って奏楽者としての練習をされているのを見かけたりもしています。この会堂開放を通して、見知らぬ人々に教会の案内を渡したり説明したりする出合いの機会が与えられたことは、貴重な時間を献げてく

る教会の奉仕者にとっても、また教会全体にとっても、充実した喜びとなっております。初めて礼拝



横浜指路教会

主イエスによる派遣

主イエスは、そのような私たちの閉ざされた扉をたたき、入って来られます。復活された主イエスが、ユダヤ人を恐れて家の戸に鍵をかけて閉じ籠っていた弟子たちのところに来られ、その真ん中に立ち、あなたがたに平和があるように」と語りかけて下さったのと同じことが私たちに起るのです。主イエスが入って来て下さったことにより、弟子たちは喜びを与えられ、そして主イエスによって、「父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす」と派遣されたのです。主イエスは彼らに息を吹きかけ、聖霊を受けなさい。だれの罪

でも、あなたがたが救せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが救さなければ、赦されないまま残る」と言われました(ヨハネ福音書二〇章一九、二二節)。このようにして弟子たちは、聖霊の力をいただき、罪の赦しの福音を宣べ伝えるために、閉ざされていた扉を開いてこの世へと出ていったのです。このことは私たちに、扉を開いて主イエスをお迎えすることによってこそ、扉を開いて世に向かって福音を語っていくことができ、扉を開いて人々を教会に迎え入れることができる、ということをお教えているのです。

「だれかわたしの声を聞き、あなたがたを遣わす」と派遣されたのです。主イエスは彼らに息を吹きかけ、聖霊を受けなさい。だれの罪

を、主イエス・キリストがたたいておられるのです。主イエス・キリストが私たちの心の扉の外に立ってたたいておられ、私たちが扉を開くことを待っておられるのです。私たちが扉を開くのは、その主イエスをお迎えするためなのです。

教会の扉を開くことも、人々を迎え入れるためであるよりも先ず、主イエス・キリストをお迎えするためです。教会が自らの中に閉じ籠り、扉を閉ざしてしまっているとしたら、それは主イエス・キリストに対して扉を開き、一人でも多く教会に迎え入れるためだけのことではありません。教会の、そして私たちの、閉ざされてしまいがちな扉

を、主イエス・キリストがたたいておられるのです。主イエス・キリストが私たちの心の扉の外に立ってたたいておられ、私たちが扉を開くことを待っておられるのです。私たちが扉を開くのは、その主イエスをお迎えするためなのです。

教会の扉を開くことも、人々を迎え入れるためであるよりも先ず、主イエス・キリストをお迎えするためです。教会が自らの中に閉じ籠り、扉を閉ざしてしまっているとしたら、それは主イエス・キリストに対して扉を開き、一人でも多く教会に迎え入れるためだけのことではありません。教会の、そして私たちの、閉ざされてしまいがちな扉

を、主イエス・キリストがたたいておられるのです。主イエス・キリストが私たちの心の扉の外に立ってたたいておられ、私たちが扉を開くことを待っておられるのです。私たちが扉を開くのは、その主イエスをお迎えするためなのです。

洗礼と聖餐の共同体

「だれかわたしの声を聞き、あなたがたを遣わす」と派遣されたのです。主イエスは彼らに息を吹きかけ、聖霊を受けなさい。だれの罪

伝道する教会へ

教会が扉を開くのは、こ

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

100万人のキリスト者が集まった

ドイツ・ハノーファー キルヘンタークを体験して



4日目夕方に向けた「テゼ」の集まり

五月末に五日間の日程でドイツ・ハノーファーで行われた「キルヘンターク」の報告をしてみたい。キルヘンタークとは直訳すれば「教会の日」となるが、「教会祭」というのが一番ぴったり来るように思われる。キリストを信じる者が

二年に一度集まって「キリストを祝う（つまりは「祭り」というのが趣旨だから）である。元々の起源は一九世紀末の敬虔主義的な信徒運動から始まったこの祭りに、今年は一〇〇万人のキリスト者が全国から集まった。この信徒運動は、ドイツ国内に留まらず、ヨーロッパ全体に広がる国際的な性格を持って来たため、第二次大戦中はナチから禁止されていた。その後、第二次大戦中から禁止されていた。第二次大戦中から禁止されていた。第二次大戦中から禁止されていた。

ツ国内に留まらず、ヨーロッパ全体に広がる国際的な性格を持って来たため、第二次大戦中はナチから禁止されていた。第二次大戦中から禁止されていた。第二次大戦中から禁止されていた。

故に「信徒大会」と訳すこともあるように、教会の公的行事ではなく、教会はあくまで経済的な後援を行うという慣例になっていく。ドイツの教会の性格の一面を知るには、私のような外国人にとつて、とてもよい機会であった。

「市場化」する教会祭

最近の教会祭の特徴を二つのキーワードでまとめると、「市場化」「信仰と行為」となる。

第一の点については、教会祭の拠点地として博覧会場（メッセ）が用いられるようになったことと関係する。おそろかなり以前は宿泊場所である学校と会場である（市街地の）教会という二つの拠点地だったのが、博覧会場を開催地を持つていない団体や教会会場では

とになる。もちろん市外から来た人たちはすべてを収容するホテルの数はなく、ほとんどの人が寝袋持参で、学校の教室を借りてこる寝をするのがこれまた「伝統」となっている。

それぞれの自分の興味にあつた団体から資料をもらい話を聞いたり出し物で楽しむのである。

もちろん入場者からすれば一箇所に集中していた方が便利であるという一方で、電車で二〇分ほどかかないと、本来主会場である教会まで行くことが出来ない。結果的に、このような教会に本拠地を持つていない団体の催しに参加するためにはあえて足を運ばねばならず、「消費者」からすると、「積極的に選択しなければならぬ」ということになってしまつたように感じられた。そのような「市場外」の団体として、たとえば自由教会や改革派教会（会場は学校）があつた。前回までは同性愛運動

の聖書研究が四〇のセクションに分かれて行われ、その後様々な行事や展示が開始する。パネル展示の数は実に七五〇以上、それだけの数の団体がドイツ福音主義教会の関係団体というこ

それが感じた伝道の課題を分かち合う交わりが持たれた。

台風の近づく中、閉会

（辻順子報）

第三八回を数える伊豆諸島連合修養会が、新島で伝道を語ろう」の主題のもとに、六月七日、八日、新島教会（東京都新島村本村）に於いて開催された。参加者は五六名、東支区をはじめ、東京教区内の全ての支区から集まった。

開会礼拝の後、各教会の現状報告がなされた。

今回特に時間を割いて報告されたのは、今年二月に避難解除となり、本格的に島民の帰島が始まった三宅島についてであった。

三宅島伝道所代務者の河合裕志牧師（西新井）

は、二〇〇〇年七月以降休止していた同伝道所の礼拝が、五月二日に再開された様子を、次のように報告した。

「礼拝には一二人が出席した。倉橋康夫牧師、富士見町」による「小さな群れよ、恐れるな」と題した。

同伝道所のメンバーを励ますために持たれてい

『三宅島伝道所』五年ぶりに礼拝

第三八回伊豆諸島連合修養会開催

中、今度いつ、どこで礼拝が守れるのかは、未定である。しかし、小さな群れが礼拝を守ることの恵みを感じている。また、民宿などを借りて、礼拝したい。

同伝道所のメンバーを励ますために持たれてい

を助けている新島教会の問題が取り上げられた。間に海を挟む兼牧（新島教会と大島の波浮教会など）の現実が、本州などからはうかがい知ることのできない課題が山積していることが示された。

信徒からは、台風などで海が荒れると、礼拝に牧師が来られない、相談したいことがある

一方、米倉佐男東支区長（聖和）からは、それぞれの教会ができることをとした上で、という見

報告の後は新島教会の子供聖歌隊の奉唱があり、伝道の困難な地でも、教会の働きがなされていることが証された。宿泊所となったロッジでは、分団の時を過ごし、それ



伊豆諸島連合修養会「新島で伝道を語ろう」



8000人収容可能なメッセ最大会場での講演

満員の八〇〇〇〇人会場

最も人が集まったのは二日目夕方、ケラー大統領演説したシンポジウムで、開始前に八〇〇〇〇人会場が満員で閉め切られた。延べ三回ある聖書研究のうち一回、「霊性」をテーマにした聖書研究に参加した。本屋でよく見かけるカトリック神父による味わい深い聖書研究は、会場に並ぶ数ある選択肢の一つにすぎないようにも思われた。また「祈り」「説教」といった信徒の教会生活を支えるものがなお展示や講演からは見出しにくいようにも感じた。

領邦教会の威信をかけて行うだけに、教会ボーイ・ガールスカウトの手伝い姿にも力が入っていた。客として楽しむよりも主催者側の楽しみの方が大きいのではないかと、訪問する楽しみと受け入れる楽しみという構図は家庭、そして伝道する教会と同じで、この教会祭にも見いだせるように思

（上田彰報）



開会礼拝の屋外第二会場

「部落解放の祈りの日」運動推進

部落解放センター運営委員会

第34総会期第二回部落解放センター運営委員会が...



部落解放センター運営委員会

去る六月六日、七日の二日間、熱海駅近くのホテル...

「聴く」難しさを学ぶ

教団教誨事業協力会

同志社での学生時代、恩師に当たるデブリン教授による...

大阪 実りある交わりを求めて

村山盛芳

大阪教区には一四九の教会・伝道所があります。大阪台湾教会も...

教区コラム

教区内に台湾語を使って教会活動を行っている群れがあることを...



参加者一同

も、毎年の「部落解放の祈りの日」運動に各教会・伝道所は積極的に関わっている...

同日、夕食時に新任教誨師に当たるデブリン教授による面接実習の指導を厳しく...

同日、夕食時に新任教誨師に当たるデブリン教授による面接実習の指導を厳しく...

催し

☆東京教区原理問題相談会 / 時7月15日(金) 13時15分 / 所「日本キリスト教会館四階会議室」...

消息



小川 居氏(大阪四貫島教会牧師) 四月十七日、逝去...

事務局報

補教士登録 沼田知子(二〇〇五・四・二五受允)

Table with columns for names, dates, and positions. Includes names like 水谷 勤, 相見泰恵, 上林 護久, etc.

伝道のともしび

地方伝道の喜び

室戸教会牧師 土肥 聡

① 室戸教会は、雄大な海、真っ青の空という恵まれた自然の中に立っている。室戸と言えば、すぐに台風が連想される。昨年には台風の高波により堤防が破壊されて、尊い命が奪われた災害が起こった。しかし、自然の厳しさだけでなく、教会を取り巻いている状況もますます厳しさを増している。合併話が出てこないほど町は疲弊しきついている。一言で言えばお先真っ暗。

② その町にある教会の伝道の困難も数えると切りがない。教会の戸を叩いて訪ねてくる人は滅多にいない。毎週日曜日、午後には室戸から車で三十分離れたその地に出かけて行って礼拝を守っている。夏には多くの奉仕者を得て、三三〇軒にトラックを配布している。神の民が起されるように祈りつつ伝道を進めている。もう一つの祈りの課題は老朽化した会堂を建て直すことである。五月に隣接地に二四坪の土地を得、その費用を完済した。三年後にこの地の伝道拠点となる新会堂の完成を望み見て、みんな

③ て、はや一六年目を迎えた。教勢や教会の置かれた状況は相変わらず厳しい中であって、多くの神様ののみ業を見せていただいた。地方伝道の喜びは、小さな出来事の中に生ける神のみ業が見えてくることである。昨年のクリスマスには今までの信仰に反対であった方が思いがけなく洗礼を受け、教会は大きな喜びに溢れた。十年ぶりの洗礼式であった。そのようなみ業に大いに励まされ、現在に至っている。

④ 地方伝道に特別な方策があるわけではない。どんな状況であって、まことの神を神として礼拝し、御言葉に生かされること、牧師は御言葉を通して、福音の喜びを説き明かすことが、何よりも大切である。小さい町では、キリスト者であることはだれからも周知の事実であり、信仰を隠すことは不可能である。礼拝から始まる信仰の生活は、そのまま周りへの証しとなる。御言葉によって生かされるその姿が、キリストを指し示すのである。その証しがいられ、聖書に関心を持つ人も出てきている。室戸岬には暗い海を照らす灯台が立っている。教会もたゆまず福音の光を大きく照らす世の灯台としての使命に生きる群れでありたいと願っている。

① ないし、若者もいない。しかし、教会は五五年間室戸の地にしっかりと立ち続けてきた。多くの祈りと献身、伝道の労苦がなければ、とづくに教会は消えていたにちがいない。また、この小さい群れが今まで導かれるために、周りから暖かい支えの手が添えられてきた。四国教会の互助による謝儀援助を一年に亘って受けることにより、牧師が腰を据えて伝道に専念することができた。それに加え、香長伝道園という教会の交わりがあった。高知県東部から徳島県南部に点在する二二教会が協力

② にとつて途方もない業であるが、すべてを成し遂げられる主に委ねて進んでいくと願っている。わたしが神学校時代、夏期伝道実習に香長伝道園へ派遣されたとき、この地の伝道者が生き生きと働いている姿を見せられて、赴任希望を地方教会と定めた。室戸教会に遣わされ



中芸開拓伝道での礼拝

⑤ 戒規執行にいたる経過
二〇〇一年五月八日付で九州教区常置委員会から粟津安和教師に対して戒規執行の提訴がなされ、教師委員会は三期にわたりこれを審議してきた。
法廷で係争中の案件に対し、教師委員会が下す決定は双方に何らかの加担ないし干渉になり、また教師委員会には法廷を超える調査をすることに限界もあつた。
損害賠償請求の民事裁判は二〇〇五年四月二日、大阪高裁で判決が出され、確定した。
その判決により事実認定をし、粟津安和教師に対し二〇〇五年六月三日、後記のように戒規を決定した。
(教師委員会)

戒 告	日本基督教団 正教師 粟津安和
上記の者	日本基督教団教師として不適切な行動があつたことを認め、戒規第一四一条、戒規施行細則第一条及び第二条により戒告処分とする。
二〇〇五年六月十六日	日本基督教団 教師委員会 委員長 軽込 昇

⑥ 議長談話
粟津安和教師に対する教師委員長名による「戒告」処分が出されたことを重く受け止めています。判決が出たからというより、裁判にまで持ち込まれて争われたこと自体がまことに遺憾に思っていました。
ここに至るまで至ってしまったこと、また至らしめてしまった力の足りなさを議長としても申し訳なく思います。
何よりも被害者と関係者の平安を祈ってやみません。いろいろな状況、背景にある問題性があったにせよこれほどまでに証しにならない事を公にしてしまったことを悔い、戒告の意味を汲み取り、粟津安和教師が悔改め真摯に対応していかれんことを望みます。
議長としても教師委員会が苦慮した末の結論を支持し、再発防止の具体化を實行していく所存です。
日本基督教団総会議長 山北宣久



鶴田 岬さん

弁護士から牧師に



1952年熊本県生まれ。04年、日本聖書神学校卒。弁護士業を続けながら、東京・戸山教会担任。

⑦ 弁護士としての鶴田岬さんが教会に通い出したのは、三〇代の半ば、愛娘が通っていた戸山教会の幼稚園に父兄として訪れたのがきっかけだった。以来、熱心に礼拝に出席するようになった鶴田さんは、五年後に受洗した。
「私は、ヤメ検なんですよ」という鶴田さんは、検事の世界は狭いんです」と、大阪地検検事を一年勤めて退職した理由の一端を説明してくれた。弁護士となつて上京した鶴田さんが、何故、教職を目指すようになったのか。
以前は、民事専門だったそうだが、この十数年来、刑事事件の扱いが多くなった。当然のことながら、多くの容疑者と接することとなる。
「人は、愛を知るために生まれてくる。神は愛を知る旅に人を遣わしている。そのことを容疑者に伝えたいと思った。相手は一人かもしれないが、福音を伝えることが出来るのでないかと考えたから」という。
五年前、弁護士業を続けながら、神学校に入学した。時間のやり繰りは無論大変だった。「大変だろうなと覚悟はしていたが、不思議なことに、神学校に入学してから仕事が増えてきた。きつと柔和になつたのだ」と述べた。
法曹界にキリスト者は数多いが、教職に進んだ人は稀である。「キリスト教は道徳ではない

アルバイト 急募

- ◎職 種 編集・出版営業アシスタント
- ◎資 格 キリスト者が望ましい
- ◎待 遇 40歳位まで
委細面談
- ◎交 通 費 支 給
- ◎応 募 履歴書(写真貼付)
7月26日(火)必着
書類選考後、面接日を通知します。
応募書類は返却しません(秘密厳守)。

日本キリスト教団出版局
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
総務課 Tel 03-3204-0421

第4回 子どもの友セミナー

- 【日 程】 2005年8月10日(水)～12日(金)
- 【場 所】 伊豆高原桜美林クラブ
- 【講 師】 三宅晶子さん、宗像 基さん
- 【リーダー】 古賀 博さん、石橋えり子さん、鳥井新平さん、飯田瑞穂さん
- 【参加費】 25,000円(学生は、20,000円)
- 【主 催】 子どもの友セミナー実行委員会

子どもの友セミナー実行委員会事務局
〒206-0014
多摩市乙田 1225-1 永山教会内
FAX:042 374 4586(永山教会)
TEL:042 331 3269(古林)
e-mail: akio1020@cello.ocn.ne.jp(古林)